

## 山口ゆめ回廊博覧会オープニングイベント「こんにちは ゆめはく」 新型コロナウイルス対応の手引き

### 1 はじめに

本マニュアルは、山口ゆめ回廊博覧会オープニングイベント「こんにちは ゆめはく」の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、イベントの来場者、従事者その他本イベントに関わる者の新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるための方策について定めるものです。

### 2 基本的な考え方

#### (1) イベントの開催について

イベントの開催に当たっては、国が定める「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を踏まえるとともに、山口県の方針に従うことを前提とします。

#### (2) 新型コロナウイルスの基本対策について

本イベントでは、感染している可能性の高い人をイベント等に参加させない感染源対策と会場内での感染を防ぐ感染経路対策を重点化し取り組むものとします。

##### 【感染源対策】

- 来場者への対策（検温、体調チェック、注意喚起など）
- 従事者対策（体調チェックなど）

##### 【感染経路対策】

- 消毒
- 三密対策
  - ・適切な換気（密閉対策）
  - ・社会的距離（密集対策：原則 2m、最低 1m、人数制限も検討）
  - ・マスク等の着用（密接対策）

##### 【その他】

- 新型コロナウイルス接触確認アプリの導入呼びかけ
- 来場者の連絡先把握（受付時に電話番号記載を依頼）

### 3 来場者への対策

#### (1) 来場者の管理

来場者に対し、検温を行うとともに氏名及び連絡先（電話番号）、体調不良・同居の感染者・直近14日間の出入国の有無等を把握し、3週間より長い期間保管します。こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知するとともに、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管および保管後の廃棄には十分な対策を講じます。

また、想定よりも多くの来場者が会場に集まった場合や来場者の適切な管理を行えない場合、主催者の判断で入場制限等の措置を講ずるとともに、事業の縮小や中止等の必要な判断をおこないます。

## (2) 来場者への周知・広報

以下について、ステージ等からの呼び掛け及び場内の掲示により、来場者に対し周知・広報します。

- ・マスク等の着用、アルコール等による手指の消毒を徹底すること。(ワクチン接種済の方についても、マスク着用をお願いします。)
- ・咳エチケットを遵守すること。
- ・社会的距離の確保を徹底すること。
- ・下記の症状に該当する場合、来場を控えること。

発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・嗅覚障害、頭痛、下痢、  
嘔気・嘔吐

- ・会場内で販売する場合は、別に指定する飲食エリアでおこない、飲食時以外のマスク着用及びマスク非着用時の会話を控えること。
- ・新型コロナウイルス感染症の接触確認アプリ利用を周知すること。
- ・ステージ出演者等への声援や掛け声等を自粛すること。

※上記に協力いただけない来場者には会場からの退出を促します。

## 4 従事者等への対応

本イベント従事者及び出演者に対し、下記の項目の遵守を求めます。

- ① 体調管理を徹底し、イベント開催2週間前から以下の状況を記録し、該当する場合は、主催者に連絡の上、従事を見合わせます。加えて、感染拡大地域から来場する従事者及び出演者については、体調の記録に加えて、PCR検査による陰性の証明を義務付けます。

### (ア) 体調が不良な場合

(例：37.5℃以上の発熱・咳・咽頭痛・倦怠感、味覚・嗅覚異常などの症状がある場合)

(イ) 同居家族や身近な知人に感染者や濃厚接触者、感染が疑われる方がいる場合

(ウ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国、地域等の在住者との濃厚接触がある場合

- ② イベント開催中のマスク着用、アルコールなどによる手指消毒を徹底します。
- ③ 適切な社会的距離の確保を徹底します。
- ④ 控室・楽屋等においても適切な換気を行うとともに、原則としてマスクの常時着用、

食事時の会話を控える等の措置をおこないます。

- ⑤ 感染防止のため主催者が定めたその他の措置を遵守し、その指示に従います。

## 5 会場対策

主催者は開催会場において、下記の十分な感染予防対策を講じます。

### (1) 受付の設置

- ① 外部から会場への動線上に受付を設置し、来場者の検温、連絡先の記入を行い、受付済者には、目印となるリストバンドを装着してもらいます。
- ② 発熱、倦怠感、また軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけます。
- ③ 新型コロナウイルス接触確認アプリについて、事前のインストールを促します。
- ④ マスクの装着をお願いします。マスクを所持していない来場者には個包装のマスクを配布し、装着を呼びかけます。

### (2) アルコールなどの消毒用具の設置

- ① 手指消毒用アルコール等を用意し、受付やワークショップ会場など、会場内の各所に配置します。
- ② 「こまめな手指消毒」を促すサイン等を掲示します。

### (3) ワークショップ会場

- ① 広さにはゆとりを持たせ、社会的距離の確保、マスク着用、アクリル板・透明ビニールカーテン等による遮断等、飛沫防止に努めます。
- ② スペース内で複数の参加者や来場者が触れると考えられる場所(テーブル、椅子等)、使用する用具については、毎回参加者の入れ替え時に消毒します。
- ③ リストバンドを確認し、受付が済んでいない来場者が来た場合には、受付での検温・記名等を促します。
- ④ 参加者に、別途作成するワークショップ受付票に、氏名・連絡先・開始時間の記入を求めます。
- ⑤ 待機列が生じた際には、適切な距離を保つよう声掛けをおこないます。

### (4) トークイベント会場

- ① 広さにはゆとりを持たせ、出演者と来場者の離隔を2メートル確保するとともに、来場者間も適切な距離が保てない状態となることを避けます。
- ② スペース内で複数の参加者や来場者が触れると考えられる場所(テーブル、椅子等)、使用する用具については、毎回入れ替え時に消毒します。
- ③ リストバンドを確認し、受付が済んでいない来場者が来た場合には、受付での検温・記名等を促します。
- ④ 待機列が生じた際には、適切な距離を保つよう声掛けをおこないます。(※待機列の表示を行う場合は、その旨を反映させます。

- ⑤ 出演者の出待ち・入待ちが生じないように、観覧者と出演者の入退場に時間差を設けます。

(5) 飲食物の販売スペース

- ① 飲食物を販売する者は、マスク着用、アクリル板・透明ビニールカーテン等による遮断等、飛沫防止に努めます。
- ② 販売区画に手指消毒用アルコールを設置します。
- ③ 場内で販売する飲食物は原則として持ち帰りとするが、水分補給の要に供するため、感染対策をおこなう飲食用スペースを設けます。

(6) スタジオ

- ① 入場時に手指消毒を促します。
- ② 会場内では、来場者にマスクの装着と適切な距離（概ね1メートル以上）の確保を促すとともに、大声での声援等の自粛を求めます。
- ③ 出演者と来場者の離隔を2メートル確保します。
- ④ 演奏が行われていない時間に換気を行います。
- ⑤ スペース内で複数の参加者や来場者が触れると考えられる場所（手すり、扉など）については、毎回来場者の入れ替え時に消毒します。
- ⑥ リストバンドを確認し、受付が済んでいない来場者が来た場合には、受付での検温・記名等を促します。
- ⑦ 待機列が生じた際には、適切な距離を保つよう声かけをおこないます。
- ⑧ 出演者の出待ち・入待ちが生じないように、観覧者と出演者の入退場に時間差を設けます。

(7) ステージ

- ① 入場時に手指消毒を促します。
- ② 会場内では、来場者にマスクの装着と適切な距離（概ね1メートル以上）の確保を促すとともに、声援等の自粛を求めます。
- ③ 観覧場所は、適切な距離（概ね1メートル以上）を踏まえた配置をおこないます。
- ④ 出演者間及び出演者と来場者の離隔を2メートル確保し、飛沫防止のためアクリル板の設置などの措置を必要に応じて行います。
- ⑤ スペース内で複数の参加者や来場者が触れると考えられる場所（手すり、扉など）については、毎回来場者の入れ替え時に消毒します。
- ⑥ リストバンドを確認し、受付が済んでいない来場者が来た場合には、受付での検温・記名等を促します。
- ⑦ 待機列が生じた際には、適切な距離を保つよう声かけをおこないます。
- ⑧ 出演者の出待ち・入待ちが生じないように、動線の確保に努めます。

8 従事者または来場者に感染が疑われる者が発生した場合

- ① 体調管理または当日の症状等により感染が疑われる者が発生した場合、保健所へ連絡し、指示を受けます。また、保健所の聞き取りに協力し、必要な情報提供をおこないます。
- ② 速やかに隔離等を行い、人との接触をできる限り避け、必要に応じて帰宅させ、自宅待機をさせます。
- ③ 対応するスタッフは、マスク、手袋の着用を徹底します。